事例３　小学校　第１学年算数科学習指導案

単元名

　ひきざん（２） （教科書会社：株式会社新興出版社啓林館）

授業展開　全11時間中の第２時

(1) 授業のねらい

（十何）－（１位数）で繰り下がりのあるひき算の計算の仕方を考えることを通して、減加法について理解を深める。

(2) デジタル教科書を活用するねらい

|  |  |
| --- | --- |
| 拡大して細部まで確認する。  音声を聞く、動画を視聴する。  考えを共有・発表する。  習熟度に応じた学習を行う。 | 自分の考えを書き込む、整理する。  教育的ニーズに合わせて学習する（ルビの活用など）。  ＩＣＴ機器と連携する。 |
| その他（　　　　　　　） | |

(3) 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | ○指導上の留意点　☆評価  ■子供がデジタル教科書を使用する場面 |
| 導入  ５分 | １　本時のねらいを確認する。 | けいさんの　しかたを　ことばでせつめいしよう。 |
| 展開 | ２　課題追究を行う。 | 〇学習者用端末の活用方法等は極力説明しない。 |
| 約10分 | **Ａ＜個別に追究する時間＞**  活動内容：12－７の計算の仕方について、自分の考えをまとめる。  方法：ア～ウのいずれかを児童が選択して取り組む。  ■ア　デジタル教科書上でブロックを操作したり、文字を書き込んだりする。  イ　実物のブロックを操作して、スライドに考えをまとめたりする。  ウ　考えを紙のノートに書き、カメラ機能を用いて画像データとして取り込む。  指導上の留意点：指示①「自分で方法を選んで計算の仕方を考えましょう。」  指示②「まとめた考えは学習支援ソフトに提出しましょう。」 | | |
| 約10分 | **Ｂ＜共有する時間＞**  活動内容：友達がまとめた内容を知る。  方法：学習支援ソフトを使い、考えを友達と共有する。  指導上の留意点：指示③「計算の仕方を友達に説明しましょう。」  指示④「友達が説明した計算の仕方をノートに書きましょう。」 | | |
| 約15分 | **Ｃ＜深める時間＞**  活動内容：学習したことを基に、15－６の計算の仕方を説明する。  　　　　　演習問題に取り組む。  方法：学習支援ソフトを活用して、全体で確認する。  指導上の留意点：指示⑤「15―６の計算の仕方を説明しましょう。」  指示⑥「学習したことを生かして、５と６の問題を解きましょう。」  評価：☆（十何）－（１位数）で繰り下がりのあるひき算の計算の仕方を考えたり、説明したりしている。 | | |
| まとめ  ５分 | ３　本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 | 〇分かったことを全体で共有し、次時の学習内容を示す。 |